

ちよい足しオイル コンフォートセラム

お肌しなやかですか？

しなやかさ、柔軟性を失うと・・・ しわが出来やすくなる
 毛穴周辺が硬くなり、吹き出物が出来やすくなる
 たるみ毛穴が目立つ
 ツヤがなくなる

コンフォートセラムで お肌しなやかに！

いつものお手入れに、コンフォートセラムを“ちよい足し”してみませんか。皮脂に近いオイルなので、ベタつかず肌にすばやく吸収され、エモリエント効果(お肌に柔軟性を与える)を発揮します。



〈コンフォートセラム〉
30ml ¥10,500

疲れた肌に活力チャージ。「ツヤっ」「うるっ」をすぐに実感！肌によくなじむ植物系オイル美容液。ベタつき感がなく肌質を選びません。柔らかいもちもち感のある肌、自然なツヤとハリのある肌に導きます。

美白+保湿+速攻ツヤ肌

洗顔後、【コンフォートセラム】を1プッシュ肌伸ばしてから【スキンローションルーセント】を数回重ね塗り。



美白+保湿 +コク・なめらかさ

【スキนครリームラスター】に1プッシュ混ぜる。



紫外線による シミ・しわにケア

【コンディショニングフェイスマスク】の前に【コンフォートセラム】を1プッシュ肌伸ばす。



疲れを速攻で癒したい

洗顔後たっぷり【コンフォートセラム】をのぼし、蒸しタオルをのせる。タオルを外したら、化粧水・クリームなど、いつものお手入れを。



朝のお手入れにプラス

洗顔後、化粧水をたっぷり与えてから、1プッシュ肌伸ばす。又は、乳液に1プッシュ混ぜる。十分に精製されているので、日中でも安心してお使いいただけます。



一言コラム コンフォートセラムはブレンドオイル

オリーブ油・ユチャ油

オリーブ油はオリーブから、ユチャ油はつばきの一種ユチャから採った植物性オイル。共に不飽和脂肪酸の『オレイン酸』が70%強含まれていて、とても酸化しにくい安定性の高いオイルです。又、オレイン酸は人間の皮膚の約40%を構成しており、肌なじみが非常にいいのが特徴です。

コンフォートセラムは、これらをバランスよくブレンドし、より安定性や肌への吸収を高めました。

スロンにはシリコンをはじめポリマーが入っていないので、肌への負担が少ないですが、ちょっとしたコクを出したいとき、このオイルがとても役立ちます。

スクワラン

深海鮫の肝油を精製し安定化したオイルです。人間の皮脂の約10%を構成している上、細胞膜の構成成分でもあり、肌には欠かせない油脂成分です。

「潤い」はお肌の命

潤いを守るスロンのお手入れ

- ✓ 冷たく乾いた空気が、容赦なく肌(角質)から大切な水分を奪っていく季節です。
- ✓ 又、寒さで血行が悪くなり、新陳代謝を低下させるのもこの季節です。
- ✓ 水分を奪われ、角質=キメが荒れた状態になりやすいのが冬の肌。



- 水分や保湿成分が逃げやすくなる
- 保湿能力が減退する
- 肌の透明感を失う
- 手触りが悪くなりゴワつく
- ベースメイクの付き・のり・持ちが悪くなる

今回は、お肌にとって非常に大切な潤いを『減らさない・貯める・増やす』という、財テクならぬ『潤テク』というテーマで、スロンを語って参ります。

減らさない — 洗顔 潤いを守る・角質を守る洗顔



何故減るの？

財テクも潤テクも、まずは支出(流出)を防ぐのが基本です。ではお肌から潤いが流出してしまうお手入れとは何でしょう？

それが洗顔です。そしてここには二つの意味が含まれます。

- ① 洗うことで、潤いが奪われてしまうこと
- ② 潤いの器である角質を荒らしてしまうこと



洗顔は元々お肌には欠かせない、とても重要なお手入れです。しかし過剰な洗顔、間違った洗顔で大事な潤いを失っている人が多く、又その積み重ねで、角質が荒れた状態になっている人も後を絶ちません。

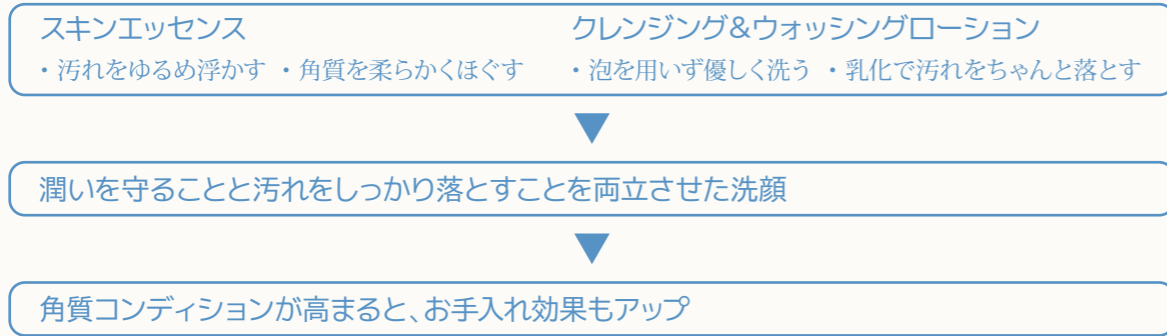
それは一般的に、肌の手触りや透明感が悪くなったなら、『角質が厚くなっています』と、過剰な洗顔・・・すなわち、いわゆる「角質ケア」で角質を削ったり溶かしたりするお手入れを勧められているからです。

お肌の潤い、減らしたくないなら削っちゃダメ！

肌状態が悪くなっている原因は、角質が厚くなっているのではなく、角質の水分不足。それにより角質コンディションが低下して、柔軟性や透明感を失い、手触りも悪化させています。洗うことは必要ですが、洗いすぎることは実に弊害が大きく、肌に重い負担を与えます。肌を良くしようとするのが、かえって肌を荒らし、大切な潤いを減らすことに繋がっています。角質という大事な潤いの器が荒れて傷んでしまえば、その後どんなに良いお手入れをしても、ザルで水を汲むようなもの。だから『何を選んで洗うのか、どう洗うのか』が大きなポイントです。

真の角質ケア = 角質育成

スロンの提唱する真の角質ケアとは、角質を守り育てること。角質を大切に守ることが、肌のコンディションを高める確かな道だからです。その為の洗顔が『スキんエッセンス』と『クレンジング&ウォッシングローション』のペア洗顔。スロンのペア洗顔は、皮膚生理にかなった洗顔法です。



貯める — 化粧水・クリーム



真の保湿とは

潤いを貯める…それは潤いを与え、保つこと。『化粧水・クリーム類』が担当します。スロンは単に水分を与えて守るだけではありません。スロンの目指す真の保湿は『保湿力をアップさせること』です。肌が本来持っている保湿力を、引き出し高めるのがスロンの保湿。だから「しっとり」が肌の奥で長続きするのです。

スロンって何が入っているの？

一般的なメーカーの化粧水・クリームには、よくセラミドやNMFなどの保湿成分が配合されています。一方、スロンにはそういった分かりやすいものは入っていません。

スロンは、厳選したハーブを、独自の比率でブレンドしたものを配合。この組み合わせと比率に大きな特長と意味があり、肌が本来持っている保湿力を引き出し、高める作用を持っているのです。

スロンの提唱する保湿は、保湿成分に頼るのではなく『保湿力をアップする』すなわち『貯める力を高める』ということです。

増やす — セラム・フェイスマスク



お肌の水分を増やすには、肌の働きを活性化させることがポイントです。『各種セラム(美容液)・コンディショニングフェイスマスク』が担当します。

どうしたら水分が増えるの？

ポイント①《水分量を増やす鍵は「削らない角質ケア」です》

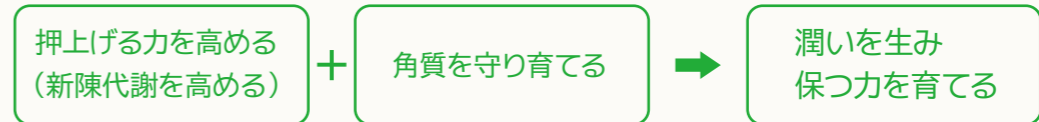
角質は無理に削らなくても、細胞が押し上げられたら自然に剥がれていきます(=新陳代謝)。これをより促進するのがセラムやコンディショニングフェイスマスクです。代謝を上げて、肌が生まれ変わる力を促します。

ポイント②《保湿成分は肌が自分で作っている》

細胞が正常に押し上げられていく過程で、NMFやセラミドなどの角質の保湿成分を、肌は自分で作り出していることはご存知でしたか？こういった保湿成分は、化粧品でしか肌に補えないと思っている方は多いですが、細胞が角質に変わる(角化)タイミングで、細胞は自らNMFもセラミドも生み出しています。しかし角質を無理に剥がすと角化を急がせてしまい、保湿成分を生まないうままの未成熟な角質の状態、角質層に送り出されてしまいます。だから削ってはいけません。

肌が生まれ変わる過程を大切にすることが、潤いを生み出すことに直結している

スロンの角質ケア



スロンは、角質を無理に削らず守りつつ、年々衰える代謝を上げて、自然に角質が剥がれていくサポートをしていこうと考えています。それにより、潤いを「減らさない」「貯める」「増やす」ことに繋がっていくからです。お肌の生きる営みに逆らわず、妨げず、大切にすることを何より大事にしているのがスロンです。